

# イラククルド自治政府:スレーマニア州 PUK 政党基盤

## 1. バフェル・タラバニ、ラフル・シェイク・ジャンギが PUK 共同指導者に選出



バフェル・タラバニとラフル・シェイク・ジャンギは、2020年2月18日(火曜日)に党の一般指導者評議会によってクルディスタン愛国同盟(PUK)の共同指導者に選出された。会議には93人のメンバーが出席した。2人の共同指導者はそれぞれ92票を獲得した。ラフルは PUK のテロ対策部隊の現職の長官であり、2005年から2014年までイラクの大統領を務めたジャラル・タラバニの甥である。バフェルは故大統領の息子である。

一部の派閥は、党が家族の王朝になるのを防ぐことを望んでいた。

PUK 一般指導者評議会は、PUK の最高諮問機関である。121人のメンバーで構成されている。理事会は、党指導部を選出し、PUK の将来の構造を決定する任務を負っている。

<https://www.rudaw.net/english/kurdistan/180220202>

## 2. ISIS、ガルミヤンで8万ドルの身代金でクルド人拉致被害者2人を釈放

クルディスタン地域のガルミヤン地域のクルド人男性2人は、イスラム国(ISIS)のメンバーによる拉致の6ヶ月後の月曜日に釈放された、と治安当局は、過激派グループが彼らの収入源として誘拐身代金を要求活動を続けていると言った。キルクーク、ニネベ、ディヤラ、サラディンの各州でエルビルとバグダッドの両方が主張する紛争地域は、過激派グループの活動の温床となっている。



2017年10月以降、クルド・ペシュメルガ軍とイラク軍との間の軍事調

整とコミュニケーションギャップが起き、エルビル・バグダッド関係が史上最悪になった。

2017年12月に敗北を宣言したにもかかわらず、ISISはイラク、特に紛争地域で積極的な戦闘活動を維持し続け、治安部隊に対する攻撃や、民間人が含まれるエリアでひき逃げ行為など、役人をなどを拉致し、未だに爆撃を行っている。

ISISの武装勢力は最近、誘拐に重きを置いている。先月末、武装勢力はディヤラのガルミヤン地域で9人の民間人を拉致し、定期的に偽の検問所を設置した。拉致された民間人の運命は不明のままである。

## シリア

### 1. SDF マスロム・アブディ、米国のジェームズ・ジェフリー特使との会談を主催

ジェームズ・ジェフリー米国シリア特別代表は火曜日、シリア北東部でクルド人主導のシリア民主軍(SDF)のマスラム・アブディ司令官と会談した。

地元メディアによると、彼らはイスラム国グループ(ISIS)との戦いの最新の動向について議論しました。

ドナルド・トランプ大統領がシリア北部のトルコとの国境から米軍を撤退し、10月にSDFに対するトルコの攻撃を事実上中止させるためグリーンゾーンを設置したにも

関わらず、米国は依然としてクルド人との良好な関係を維持している。

米軍の派遣部隊は、シリア北部の油田を守るためにシリア北東部に残っている。

シリア北東部を訪問する前、ジェフリーはイラクのクルド自治政府と当局者と会談した。

クルド自治政府のネシルバン・バルザーニ大統領との会談で、ジェフリーはシリアのクルド人の状況について話し合った。

